



## 【原発事故からまもなく5年。今年を測定所運動の飛躍の年に】

昨年は、京都北部・市民放射能測定所たんぽぽ、おうみ市民放射能測定所が開所し、市民測定所西日本ネットワークにも加わっていただきました。また、鈴木診療所さんも放射能測定室を開設し、アレルギー症状が出ている患者さんが摂っている食材の放射能測定を手がけています。いずれの測定所（室）も、当所と同じ測定器（ATOMTEX社・AT1320A）を導入しています。測定所（とくにAT機）が増えることはとてもうれしく心強いです。

特に京都北部・市民放射能測定所たんぽぽさんの開所は、2014年11月に「第2回市民測定所まつり in 綾部」での出会いから開所に至ったので、感慨深いものが有ります。綾部市でのまつり開催にむけて何度も綾部市に通い、幼稚園、保育所、病院、労働組合、市民団体、市民ホール、市民センター、公民館、市民活動センターなどを回って協力を要請し、チラシの配布をお願いしたことを思い出します。大本教やカトリック教会、グンゼにも行ったっけ。結局、当所の会員さんであった綾部ひまわり共同保育園の職員さんや保護者が測定所まつりに参加してくれたことで、勉強会の開催、作ろう会の立ち上げにつながり、2015年8月の開所へと結実しました。本当にすばらしい出会いとなりました。

さて、ここで今年の決意を2つ。

まず第1は、京都測定所として、福井の原発周辺地域、京都北部、京都市内の環境放射能を継続して測定することで、若狭原発群の稼働による環境への影響を調査していきたいと考えています。こうした取り組みが、原発をなくす取り組みに役に立てばと思います。第2は、3月から6月にかけて西日本ネットに参加する測定所が、測定所まつりや無料測定会などのイベントを連鎖的に開催し、市民測定所の存在と役割を社会的に大きくアピールしていきたいと思っています。この2つを実現したいと思っています。

なお、京都測定所は5月15日（日）の呉竹文化センターで「4周年記念の集い」を開催しますのでお楽しみに。

会員のみなさん。これまで以上に、物心両面のご支援を心からお願いして、当会を代表してのご挨拶とさせていただきます。

2016年1月24日  
京都・市民放射能測定所  
代表 奥森 祥陽

# 第11回測定所勉強会 トリチウムの危険性

## 「汚染水海洋放出、原発再稼働、再処理工場稼働への動きの中で改めて問われるその健康被害」

2016年1月11日（月）20名を超える参加者で超満員の測定所で山田耕作さん、渡辺悦司さんに講演いただきました。勉強会の後、参加者から「現実を知り暗くなってしまう」という感想が出されたのに対し、講師の山田さんは、さらりと「そうですか？内容がわかれば攻めようがあるでしょ」とお答えに。

（遠藤・山田・渡辺さんの論文「トリチウムの危険性」は→ <http://blog.acsir.org/?eid=47>）

（報告 神田）

問題は

- 1 福島原発からのトリチウム汚染水の海洋投棄
- 2 トリチウムを大量放出する加圧水型原発の再稼働
- 3 莫大なトリチウムを放出する再処理工場の稼働

[トリチウム(三重水素 H<sup>3</sup>)の生成と性質、危険性]

- ・原子炉ではトリチウムが燃料棒に蓄積され、事故や再処理で燃料棒が破壊されると外部に放出される。
- ・化学的な性質は水素原子と変わりがなく、どこでも通常の水素に置き換わる。酸素と結合して通常の水(H<sub>2</sub>O)から、トリチウムTを含む水(HTO)となる。体の一部となり長く体内にとどまり大変危険である。遺伝情報を担うDNA中の水素とも置き換わるのでベータ崩壊によりDNAが損傷される。
- ・半減期約12年でベータ崩壊、放出される電子エネルギーは平均5.7keVで小さいが、射程距離は1~10μmであり局所的な狭い領域に集中的な被曝を与える。
- ・高分子化合物と結合した有機結合型トリチウム(OBT)は食事などから体内細胞の重要な構成要素となり容易に排出されない。

[トリチウムによる健康被害]

- ・ICRPはトリチウムの線量係数(μシーベルト/ベクレル)をセシウム137の100~1,000分の1と過少評価。ICRPのモデルでは、体内に入ったトリチウムの生物学的半減期を10~40日間としている。しかし、イアン・フェアリー氏は研究結果から200~550日であることを示している。

[原発や再処理工場からの日常的放出、健康被害]

- ・四国電力のデータで平均すると、稼働中は年間57兆ベクレル放出(広島1万人委員会HPから)、福島第一原発が27ヶ月間で出したトリチウム約40兆ベクレルの2倍以上を、伊方原発は出している。
- ・玄海原発が全国一トリチウムの放出量が多い(年平均83兆ベクレル)

佐賀県玄海町の白血病による死者数は全国平均の6倍以上(1998年から10年間で、10万人あたり全国平均5.6人、玄海町34.8人)

- ・六ヶ所再処理工場(青森県)のトリチウム放出管理目標は、液体1京8,000兆ベクレル/年であり生産量に等しい(要は回収できない)。青森県の全癌死亡率は全国でワースト1

\* 福島原発事故が起こり、大量のトリチウム水が溜まり、太平洋に大量に放出されようとしている。 Guam、ハワイはもちろんだが、対岸のアメリカ西海岸に被害を及ぼす可能性があるような事態でも日本政府は、「放射能の被害はない」と言い繕うつもりだろうか。

# 測定所の仲間が増え続けています！

## 1月11日 西日本ネットワーク報告

1月11日、丹波橋測定室に、西日本の測定所の面々が集いました。各測定所で測った検体から放射能が検出された事例や、とりくみの報告を持ち寄りしました。概要を下記に報告します。(楠本)

### ★京都・市民放射能測定所

依頼を受け、福島県と茨城県などの土壌を集中して測定。郡山市の土壌の中に、セシウム合算48,100Bq/kgも検出されたことに驚き。高浜町、大飯町に行き、原発付近を『ホットスポットファインダー』で移動。

### ★京都北部測定所たんぽぽ

焼芋(茨城産)セシウム137を2.76Bq/kg検出。

### ★高槻測定所

茨城県産玄米 セシウム合算14.0Bq/kg検出など。

### ★奈良測定所

公園のすべり台の下の土壌、福島産のりんご、白米、柿の測定結果など。

### ★阪神測定所

有機肥料、牡蠣殻石灰の測定結果など。

### ★おのみち測定依頼所

福島産白米の測定結果と経時変化など。

### ★さかな二匹の測定所

年末年始の空間線量の変化、兵庫県と近隣の土壌の測定結果など。

### ★南福崎土地放射能測定室

ゲルマニウム測定器でのクロスチェック結果。

### ★おうみ測定所

昨年11月29日、滋賀県近江八幡市に『おうみ市民放射能測定所』が開所式を迎えました。おうみさんの測定機は、ベラルーシのATOMTEX社製のAT1320Aを導入されました。

その後、場所を東近江市にある飲食店『姉妹舎』(店主さんが主要測定スタッフ)さんに移し、店舗営業中に測定を行い、放射能測定の判断の難しさに日々格闘中だそうです。

みなさん応援よろしくお願いします。

姉妹舎さんのホームページはこちらです。

<http://dekosimaisha.shiga-saku.net>

### ★お魚ゲルマ測定

3月27日(日)高浜町で水揚げされたイカを測定する予定。(京都測定所が担当)

東電福島第一原発事故以後、私たちは「被曝」という問題について、どのような行動を取り、どのように語ってきたのだろうか。メディアや行政は、どのように語っているのだろうか。誰の、どんな情報を、何を理由に語じたら良いのだろうか。

「安全だ」と言われるものを「危険だ」と思うとき、「危険だ」と言われるものを「安全だ」と思うとき、「気にしなくて良いんじゃない?」「気になるんだけど・・・」と思うとき、判断するための信じられる情報を主体的に調べ、考え、獲得していくことがいまま、どのようにしてできるのだろうか。

被曝の見えなさ、「科学」の分かりにくさ、氾濫する情報のなかで、暮らしの中での被曝は問題化しにくく、語りにくい。被曝を避けようとして住居や食物を選ぶこと、そして不安を口にすることも。

ジャーナリズム、表現・体験・移動・居住・食・測定・調査などの多様な実践や生活感覚を生きたる個人々の体験から、被曝をめぐる疑問や不安を語る/語り合うこと。そこから、フクシマ以後の社会の姿を考える糸口を探る。

2016年2月12日(金)13:00~17:20  
場所:大阪大学学生センター・コモンズ(豊中キャンパス <http://www.celias.osaka-u.ac.jp/s.c>)

一部 13:00~15:00  
趣旨説明/おしどりトーク・質疑応答

二部 15:20~17:20  
ワークショップ  
西井麻里奈(文学研究科 博士後期課程)  
京都府放射線測定所  
自主選定している方法が、参加者の皆さんと意見交換

申し込み・問い合わせ先  
[hibaku\\_kataru0212@yahoo.co.jp](mailto:hibaku_kataru0212@yahoo.co.jp)  
(当日参加も可ですが、できれば事前にご連絡ください)

おしどり  
ふしとクリエティブ・エージェンシー所属。  
マニカンの編集コンピ。福島原発事故後、随時行われている東電電力の記者会見、省庁、地方自治体の会見、学食・シンポジウムを機動的に取材。現地に足を運ぶ。その現場を様々な媒体で公開している。フォトジャーナリズム誌「DAVIS JAPAN」の編集委員もつとめる。

大阪大学 日本学 学生企画 トーク＆ワークショップ

## ♪大阪大学での学生企画に参加しました♪

2月12日に、大阪大学豊中キャンパスで開催された『トーク&ワークショップ 被曝を語る』に、京都測定所として招待を受け、私佐藤がパネラーとして発言してきました。

第一部は、おしどりマコさん・ケンさんからの報告。福島第一原発事故以降、ものすごい突撃取材、突撃インタビューを重ねてこられた話は、迫力がありました。

私は、測定所で測ってきたことを中心に、汚染の実態と、今後は汚染物が「広く」「薄めて」「リサイクル」されようとしている危険性を語りました。

私は阪大OBなので、学生が中心になって企画されたことが嬉しく、交流会も楽しく参加してきました。この中から新しい測定スタッフが出てきてくれたら、いいですね。(佐藤)

## インフォメーション

### ★ほっこりカフェ

2月17日(水) 10時30分~12時  
丹波橋測定室。

### ★資料閲覧のおすすめ♪

丹波橋測定室では、福島県の新聞(民友、民報)の記事をスクラップしています。放射能関連の書籍等も閲覧できます。ぜひご利用ください。貸出など希望される方はご相談ください。

### ★バイバイ原発きょうと集会

3月12日(土) 13時30分~ 円山公園  
京都測定所も賛同しています。

★5月15日(日) 京都測定所4周年のつどい  
呉竹文化センターを午前、午後借りています。  
会員総会、ビデオ上映、講演会、演奏会、写真展、  
無料測定会、子ども企画などを検討中です。

## 測定所全体ミーティング

★3月13日(日) 15時~16時30分  
丹波橋測定室。関心のある方、大歓迎です。

## 【2月28日(日) 無料測定会】

京都市左京区にある『医療法人 鈴木診療所』さんで、10時~15時やります。  
下鴨中学校の北門からすぐの所です。  
測定する検体を募集中です。



## 会員のみなさまへのお願い

京都測定所をいつもご支援いただき、スタッフ一同感謝しております。

しかし、今後も引き続き測定所の運営を続けていけるかどうかは、現状のままでは大変厳しく、みなさまからの会費と測定依頼に頼るしかありません。

会員の継続(年会費納入)を、心からお願い申し上げます。

なお、右記の口座に年会費を振り込んでいただいた方には、後日新しい会員証をお送りいたします。よろしく願いいたします。

◇年会費(会員になった日から1年間)

正会員 4千円

サポート会員 2千円

◇以下の口座に振込んでください。

・郵便振替口座

00990-8-147255 京都市民測定所

・ゆうちょ銀行

14440-6770961 京都市民測定所

(他銀行からの場合)

店名 四四八 店番 448

普通預金 0677096 京都市民測定所



京都・市民放射能測定所 事務局

〒612-8082 京都市伏見区両替町9丁目254

北川コンサイスビル203号

TEL/FAX 075-622-9870

E-mail [shimin\\_sokutei@yahoo.co.jp](mailto:shimin_sokutei@yahoo.co.jp)

<http://nukecheck.namaste.jp/> <http://crmskyoto.exblog.jp/>